

67167

旧番号  
IAx(24)

旭見

旭旦

日上

一金

臨由

往者到  
支那

之令

瑞由  
如林

令

山山

西青

開井

横部

今西

菟之

柳丸  
古探丸

塩川

長島

橋田幼紙

草子

辛九  
草子

外傳善集

劉孔球

李持正

道方

保井基五

傳教士之手印也

心至誠なり

山川

經書

足

王

内記

三

松川

也

足

梅田

檜原正金治り子記  
備前守の長

山川草木

日別日記 備前

壬辰 年

↑ 雲 霧 子

大山の雲 未だ 此迄 壬辰

七年 五月 外由 佐藤 善集

際 川 林 上 田 卯 由 際

善集 東 正 金 治 り 備 前

ふ ち 三 十 七 日 廿 三 日

一 日 一 日 一 日 一 日 一 日

一 日 一 日 一 日 一 日 一 日

一 日 一 日 一 日 一 日 一 日

一 日 一 日 一 日 一 日 一 日

一 日 一 日 一 日 一 日 一 日

一 日 一 日 一 日 一 日 一 日

一 日 一 日 一 日 一 日 一 日

一 日 一 日 一 日 一 日 一 日

大正海防の由也。● 夢我一人  
こして由地人の敵に備わらる  
いとは少後敵を張らる、  
いふことにてはりことなりといふ  
あり

甚功也方取甚意にん  
ち高島 和知 市

佐識生毛部

乙

栗方春皇の山川要事  
神帳とて其功也方  
之し担りもよりしは是  
又ち高島 和知 出能  
備有し候

あり節しや

明治三十年五月  
比治の記録  
松尾匡人

大正三年五月

△  
二  
九

丙 乙 甲 甲 甲

二 六 五 五 少  
陽 九 陽 陽 陽  
如 如 如 如 如

五 五  
如 如  
如 如

四 四  
陽 陽  
如 如

浩 天

海 山 振 生 杯  
了 号 平 向 塔

年 坂 山 井 所  
流 向 庄 上 木

久 土  
留 才

吉 古  
井 村

丙

海子

△

二九  
九

浩次  
佐平

△

三  
四

右居  
三平

△ 平古こいき 徳いりりりり

甲

中村 範

乙 乙 乙

才一 浩水  
才一 平田  
才一 也

左、ニ人ツ  
脱ぬせり

甲、最上

佐友

高田 一

甲

十六  
松田 北三郎

中村ヲ 甲トシテ 取  
去田ハ 一ツノ上ニ 置

軍

外に便書集に就てあり

別存録も稿は在り

此を又承せししころ

其のつて物原せし

しころして其の細

控前より侍り

ころは相共其の

る信ト正目別存録

随前せしの

又内地よりテモ

テ不記せしモノ

今、あし

写、成は

...

...

江戸の...

...

...

日中別居哉

長日位尊母子物是哉

昭信之毛平口長國社高神介林

誠政及神師上

平替五年ノ高

信言し内は彼善は東と苦心小事

中務之舞乃為馬其年

神師師牛氣之弟十人外本

傳多ん口口口口口口口口口口

外は徳の善果。ノルノ 聖用云々

特命ヲ下し昭信ニテセヨ旨

向禮信之儀ヲ甘々し朱を也

既子倫氣之著し曰ふに於ラテ

凡甚也カハシクシテ心年者

沐日毛子存のお宿を善業

云々口口口口口口口口口口

巨額ニシテ外は口口口口口口

信ルヤ否ヤノ疑ヲ断し古テ完撰

秀文撰ヤハズ口口口口口口

口口口口口口口口口口口口

口口口口口口口口口口口口

口口口口口口口口口口口口

口口口口口口口口口口口口

己の口より多き事なしの聞談事外に

さうお説き出しの信にたゞあらずして  
そなたも年七の由母にさうしての借  
け  
五の年より口をさす（之れは神事）

時常りる一と五の外は為衆よりさうせん  
力或の時候を賜つる心 我々も

物なす保せんころのさす甘りしや  
あつりて其の口を衆にさすや

サリしに別はたさすは衆一物  
二倍三十七の由（即ち）

の年其の口をさす物（即ち）  
一物はたさす事なしの好説事

はたさす 七の口を衆にさす

衆界に信の口をさす物  
五の口をさす物（即ち）

二才三才の口をさす物（即ち）  
之れは神事なりて年一の急

こゝろにわりの口をさす物  
又三才の口をさす物（即ち）

神の口をさす物（即ち）  
さす物（即ち）

此の... 其後

ふる... (我れ...)

善... 其後

往... 其後

母... 其後

之... 其後

ク... 其後

於... 其後

之... 其後

後... 其後

よ... 其後

即... 其後

深... 其後

其... 其後

左のこぼれ木  
借せよとの

はなはちのたまは

厚弁葉の

はなはちのたまは はなはち

はなはちのたまは はなはち

はなはちのたまは はなはち

はなはちのたまは はなはち

はなはちのたまは

(はなはちのたまは)

はなはちのたまは

はなはちのたまは

はなはちのたまは

はなはちのたまは はなはち

はなはちのたまは はなはち

はがぶるのちりしせす  
物り、（あつた） 新設の役

あつたはし  
あつたはし

ト副成の留り社元電

文も他ノうこ せよのこ

せよのこ  
せよのこ

しよのこ

長島也

海田也

山崎也

古松一徳印

毛子

きよ

常田也

ちん

富田也夫

方天深草功之為可了精

是法由外之取行其也

南是上解略一或内風之子功斗交

即四元一既記功之事一也

一外西依善集一故四也

一善功功之也一也

四功世乃可力也

有結載一言子有通者不乃之指是也

佛危

廿七年

支配役

文書局長 兼 館務局長

大阪支店長

西郡支店長

同前支店長

秘書役

取調係 兼 金庫係 兼 庶務係

支店長 兼 一課長 兼 加島支店長

支店長 兼 主任

支店長 兼 三課長

札幌支店長

山本達雄

河上謙一

鶴原定吉

吉橋長隆

岸井佳久

三田 佳

濱田 市助

菅 友 彦

中山 善之介

森 辰 録 郎

田 中 喬 樹

阿久保 義 處

日本銀行

三十七年五月三十一日

行

廿八年

國庫局長

支那役

海井

佳久

平糶局長

..

山本

一

牛車水局長

..

山本

一

大阪市長

..

野原

定吉

西郡市長

..

高橋

是清

新西尾市長

..

菅原

源

(下半年交代)

秘書役

副支那役

三田

信

(下半年交代)

西郡市長

..

濱田

市助

兵庫市長

..

中山

右之介

滋賀市長

..

志立

織治

滋賀市長

..

志立

織治

札幌市長

..

田中

高村

日本銀行

從四位勳五等瑞寶章

高橋 是清

從四位勳四等瑞寶章

山口 宗義

從七位勳六等瑞寶章

首藤 諒

勳四等瑞寶章

森村市左衛門

勳四等瑞寶章

川上左七郎

日本銀行

ナシ

三田 信

ナシ

内田 耕作

正四位勳五等旭日章

鯨島 武之助

從六位

吉井友兄

從五位勲五等瑞寶章

鈴木知雄

從四位勲五等双光旭日章

因藤成光

從七位勲六等單光旭日章

柳谷卯三郎

勲七等瑞寶章

岩佐理藏

從六位

深井英五

日本銀行

從六位

塩川三四郎

正七位

林 養三

從五位

佐脇安文

從六位

片山貞次郎

從五位

渡邊千春

送  
禮

五年事公徑の件

